

元魔法少女を指名できる風俗店「ダブルヒロイン孕ませ隷嬢コース」

## シーン2

マリー「くつ、性懲りもなく、またー？ 京香、今度こそ！」

キョウカ「まあまあ、牛魔王爵さん、ご指名ありがとうございます」

マリー「きよ、京香どうしたのー？」

キョウカ「何を驚いてるんです？ ウチ達は風俗嬢なんやからお客様の牛魔王爵さんをお迎えするのはあたりまえのことやで？」

マリー「え、えー？ 京香だけ、催眠洗脳を95%に上げて常識改変ですってー？」

キョウカ「マリーはん、前々から思ってたけどお行儀が悪いで」

マリー「つく、なんて非道な……あ、あー？ 京香ダメー？」

キョウカ「ふふふ、今日はマリーはんが主役でわからせ調教コースなんやつて。ウチもしっかり手伝つてあげるから殿方にこそ奉仕する嬢としてのお行儀、覚えてこうね」

キョウカ「まずはウチからですか？ ええ、ええ♡ しつかりマリーはんにお手本を見せてあげないとやね♡」

マリー「つく、奥手の京香があんなこと言うなんて……」

キョウカ「ズボンの上からでもくつきりわかる、とつてもご立派な魔羅♡ ああ、ほんと雄々しくて、ふれるだけでウチの割れ目からお汁がよだれみたいにだらだらでちゃうわ」

キョウカ「それじゃあ失礼して、コンドームを……」

マリー「なんとか京香を正気に戻さない」と

キョウカ「ウチはもう準備万全です♡ んっ♡ 牛魔王爵さんの舌ながあい♡ ひゃうっ♡ ウチのお汁美味しい？」

マリー「ひゃうっ♡ え、えー？ あたし触られてもいないのに、あそこをなめられた感触がー？」

キョウカ「まあ、全身の感覚共有催眠やなんて♡ おまんこの中まで♡ それなら、お豆をこうした、らっ♡」

マリー「んあっ♡ー？」

キョウカ「まあ、まあ♡ マリーはん、一人でベッドの上でのけぞっちゃつて♡ じゃあ、魔羅チンポの竿にすりすりしちゃつたら♡」

マリー「んっ♡ー？ んんっ♡♡ 京香やめてー？」

キョウカ「ええー、マリーはん♡ まだ前戯やで♡ これで入れちゃつたらどうなるん♡」

マリー「ひゃっー？ ぴとつて先端がついてるの分かるー？ ダメ、ダメー？」

キョウカ「んあ♡ 入ってくる♡ マリーはん♡ 分かるよね♡ お、お♡ おなかにぶつといのが入ってく快感♡ 一緒に楽しもうや♡」

マリー「ひ♡ 京香のお肉を広げてる感覚までー？ ひう♡ ひあ♡」

キョウカ「あは♡ 後ろから入られるのって奥まで入ってすごい♡ マリーはんもこの前こんな風に入れてもらってたんやね♡ んお♡ すっごい腰使い♡ 気持ちいい♡ 気持ちいいわあ♡♡♡」

マリー「あ、あ、ああ♡ 京香の気持ちいいのが流れ込んできてえー？ 気持ちよくなったりたかないのに♡♡♡ー？？」

キョウカ「ふー、ふー♡ ウチの膣はむっちり、しっとり包み込む感じで♡ マリーはんのはぷりつと生意気に抵抗して突きがいがある膣なん？ それじゃあ、ウチもきゅつと頑張つて♡」

マリー「いひ♡ さっきよりきゅつて♡ あたし何もしてないのに♡ 膣が締まって♡ チンポの感触がはつきりとお♡♡♡」

キョウカ「あ、あ♡ 胸を乱暴にもまれるの♡ めっちゃいいわあ♡ もつと、もつと♡ ウチで気持ちよくなってえや♡」

マリー「イヤ、乳首♡ ひぎ♡ 気持ちよくしないでえ♡♡♡」

キョウカ「自分でやって♡ こう？ もみもみ♡ あは♡ マリーはんも気に入ったみたいや♡ もつともつと気持ちよくなる♡」

マリー「きよ、京香までー？ だ、だれが自分でなんてー？ オナニーの時は、う、クリトリスだけ……バカ、変態！ 何てこと聞いてくるのー！」

キョウカ「ふふふ、素直なほうより、マリーはんみたいな生意気なほうが滾るんやない？ でも、今はウチに入ってるんやから♡ もつと、ウチの体♡ 楽しんで♡ あ、あ♡ ずこずこ♡ すごい♡ んちゅ♡ ほら、マリーはんに見せつけるように♡ 胸もお尻も♡ れろ♡ 気持ちいいお手本♡」

マリー「ふー♡ ふーう♡ 京香♡ なんて楽しそうに♡ ダメ、あれは催眠洗脳で操られてるだけ、なんだから♡ んあ♡」

キョウカ「はあ♡ は♡……は♡ は♡♡♡ ウチのお肉♡ ねっとり絡みついて♡ はひ♡ ウチも気持ちいいです♡ ……んひ♡ 中でおっきくなって♡ すっごい♡♡♡」

マリー「ん♡ ん♡……ひう♡ 京香があんな顔で♡……ダメ♡ 感覚がつながってるのが♡♡ んあ♡……あ、ああ♡ー？」

キョウカ「あ、あ、ああ♡ イきます♡ 極太魔羅チンポで♡ ウチ♡ イっちゃうううう♡♡♡♡……」

マリー「ウソー？ いくのまでうちに来るのー？ ダメ、ダメー？ ダメエ♡♡♡……」

キョウカ「はあ、はあ♡……は♡♡♡」

マリー「ふー、ふー♡……んあ♡♡♡」

キョウカ「マリーはんのおまた♡ お漏らししたみたいにくっちゃぐちゃ♡ ウチの気持ちいいのしつかりったわつてたみたいやね♡」

キョウカ「んっ♡ もつ♡この立派な魔羅チンポ楽しめたかったんやけど♡ ふあ♡ こんなに出してくれたんや♡ ちゅっ♡ たふたふであつたかい♡」

マリー「こんなの……今までの戦いの傷にくらべたら……絶対に負けないんだから」

キョウカ「マリーはんも素直じゃないやね。あ、新しいコンドーム付けて、と……え、まあ、まあ♡ ウチもええのん♡ ふふふ、マリーはんは友達やから♡ しつかりお手伝いさせてもらいます♡」

マリー「く、来るなら来なさいよ！ あたしはこんな下品な催眠洗脳には負けないんだから！ すぐに京香も……え、ちよとー？ そっちはお尻の……まさか」

キョウカ「大丈夫やで、ウチらはどちの穴でもご奉仕できるように調整されてるそうやから♡」  
マリー「んぐっ！？ うそっ！？ 入っちゃった♡ え、えー？ 違うのに♡ ひうっ♡……んん！？ はっ♡ はうっ♡ーっ！」

キョウカ「んっ♡ くっ♡ ウチにもきたあ♡ これがマリーはんがお尻で感じる感触なんやね♡ ぶつとのお尻の穴にぐにっ入って入ってく感触♡ めっちゃええわあ♡」

マリー「ひっ♡ ひあっ♡ 変態！ おしりの穴に入れるだなんて♡ あ、あっ♡ これは、催眠洗脳のせいなんだからっ♡ 勘違いっ♡ んんっ♡♡♡ 気持ちいいなんてー？ こんなのが気持ちいいなんてえー？」

キョウカ「マリーはん♡ すっごい気持ちよさそう♡ それじゃあ、ウチもこれで♡」

マリー「え、京香ー？ なにそれーっ？」

キョウカ「何って、牛魔王爵さんの魔羅チンポをかたどりの双頭デイルドってやつやで？ ちゅっ♡ さっきまで入れてもらつたチンポとそっくり♡ 太くて♡ 固くて♡ ウチらをひひひい言わせてる肉棒や……これを、一気に♡ んおっ♡♡♡ーっ！」

マリー「んひっ♡♡♡ーっ……前にもーっ！」

キョウカ「はひ♡ はひ♡ おなかぼっこり♡ 前にも後ろにも入ってる感覚♡ すっごい♡」

マリー「ふー♡ ふー♡ 堪え、堪えなきゃ……京香を助けて……牛鬼をぶっ飛ば……え、えー？ 京香なんで近づいてー？」

キョウカ「いややわあ♡ 双頭、デイルドやで。もう片方のチンポも使うにきまつるから♡ マリーはんのおまんこ♡ びっしょりして物欲しそうにくばくばして♡ これでウチがふたしてあげる♡」

マリー「ま、まつて……んおっ♡♡♡ーっ？ ひぐっ♡ 入ってるのに重ねて♡ 三本中に入ってるみたい♡♡♡ーっ！」

キョウカ「はあっ♡ はあ♡……これすっごい♡ マリーはんのお尻とおなか♡ みっちみちに詰まってすっごい気持ちよくなってるのが伝わってくる♡ んあ♡ 動く♡ お肉♡ つぶれて♡ すっごいわあ♡」

マリー「んぎっ♡ んんっ♡♡♡……壊れるぅ？ 体壊れちゃうぅ？ みちみち♡ ぶちゅぶちゅって♡ なのになんでこんな気持ちいいのおー？ いやあっ♡♡♡ 止めて♡ もういきっぱなしで♡ 体も頭も壊れちゃうっ♡♡♡……」

キョウカ「はい♡ 牛魔王爵さんの動きに合わせて♡ ごりごり♡ ずぼずぼ♡ あたまふつとしそうになるぐらい気持ちいい♡ こんな初めてで♡ マリーはんも楽しんで♡ ね♡」

マリー「イぐっ♡ イってるのお♡♡♡……はひっ♡ んひっ♡……気持ちいいのが洪水であふれて♡♡♡ いいでしゅ♡ 乳首も♡ クリも♡ ぴりぴりで♡ 子宮ぐちゃぐちゃにつぶされて♡ お尻の奥まで♡ 気持ちいいの覚えこまされて♡ ひぐっ♡ もつとイぐっ♡」

キョウカ「はっ♡ はっ♡……マリーはんの感覚♡ 共有してるから♡ どこ突いたら一番気持ちいいかわかる♡ こゝ♡ おへその裏側♡ ぐりぐりなぞって♡ 子宮の入り口つぶされるのがいんやね♡ ウチもきもちいい♡ 牛魔王爵さんのか魔羅チンポとディルドの竿でごりごりするのもええわ♡ んっ♡ んっ♡ もつともつと声あげて♡ お客様を喜ばせるんや♡ それがウチらのお仕事なんだから♡」

マリー「ひううっ♡♡♡……京香♡ 京香♡……もうわかんない♡ 頭真っ白♡ あたし、あたし♡」

キョウカ「あは♡ マリーはん、ウチに必死にしがみついてかわいい♡ 真っ白になって大丈夫やで♡ ちんぽのことだけ考えればいいんや♡ ウチと一緒に♡ イこ♡ イかしてあげる♡ 牛魔王爵さんと一緒に♡」

マリー「ひぐっ♡ ンぎっ♡♡♡……イくっ♡ お尻の穴に出されて♡ おまんこにいっぱい入ぼ入れられて♡ 真っ白になって♡ イっちゃうっ♡♡♡……」

キョウカ「来たあ♡ マリーはんのイってるの♡ すっごい♡ ウチも♡ 両方の穴で♡ んちゅ♡♡♡（腰ふっ）♡……イぐっ♡♡♡……」

マリー「はあ♡……はあっ♡……京香♡ 京香あ♡」

キョウカ「あはは♡……わからせ調教コース、ご利用ありがとうございました♡ んっ♡」